

平成26年3月吉日

吟道関心流 宗家 藤井芳洲
関心流日本興道吟詩会 総本部

府県本部長各位

平成26.27年度関心流競吟大会 審査委員打ち合わせ内容についてのお知らせ

謹啓 暑さ寒さも彼岸までと申しますように過ごしやすい季節となりましたが、
皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃は、関心流に対し、暖かいご理解と厚いご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
去る3月1日・8日・15日の三回にわたって『平成26年度・27年度競吟大会』の課題
吟を対象に審査について討議いたしました。
つきましては討議した内容について一部ご連絡いたしますので、ご査収の上、何卒よろしく願
いいたします。

謹白

■第一部

『出郷作』佐野竹之助

決然 (節)

先代宗家が発表した節に準ずる。

向 (読み)

むかう(正読)むこう(誤読)

牽 (節)

教範通り平板音より発する。

■第二部

『貧交行』杜甫

管鮑 (読み)

かんほう(正読) かんぼう(誤読)

棄 (節)

教範通り平板音より発する。

『對酒』白居易

蝸牛 (節)

平板音から少し上げて平板音に戻す。

貧 (節)

最高音まですり(ゆり)上げる。

■ 第三部

『偶成』山内豊尹

雲煙 (節)

一度下げてから持ち上げる。

廿有 (節)

すり(ゆり)上げること。

日月 (読み)

じつげつ(正読) にちげつ(誤読)

鯨海 (節)

特殊な節であるが、大山節でも構わない。

邊 (節)

すり(ゆり)上げること。

■ 第四部

『失題』勝 海舟

于 (節)

すり(ゆり)上げること。

『十字詩』頼 山陽

雪

最高音で入り、中音域まで落とすこと。

■ 第五部

『不出門』菅原道真

都府楼 (節) すり(ゆり)上げること。

逐 (読み) おおて(正読) おうて(誤読)

逢 (読み) おおて(正読) おうて(誤読)

※本来、節・調の説明は文章では不可能です。

内容が理解できない場合は、

まず県本部の指導者・担当講師同士で解決していただき、

それでも傅理解なことがありましたら養氣庵にて質疑応答させていただきます。

但し、質疑応答の範囲はあくまで本状でご報告させて頂いた範囲に限ります。

■減点となる吟

- 一、正調な関心流の調子でない吟
- 一、正調な関心流の節譜でない吟
- 一、詩情無き単調な吟
- 一、過度なメモに頼る吟
- 一、粗吟・棒吟・カラオケ吟

■失格となる吟

- 一、誤読吟
- 一、読み直し吟
- 一、絶読吟
- 一、他流吟
- 一、明らかに関心流以外の競吟大会に準じた吟